


平和祈念像

〔地図番号59〕

建立年月日 1977（昭和52）年8月2日		
建立者 広島平和祈念像建設会	設計・制作者 <small>えんつばかつぞう</small> 圓鏝勝三	
形状 像本体 1.4m 台座 1.8m 母親に抱かれてトランペットを吹く赤子の姿 足元には三日月（金色）がデザインされている 台座には「平和祈念像」の字		
建立の目的 原爆犠牲者を追悼し、人類悠久の平和を願う		
碑文（台座背面） 「昭和20年8月6日原子爆弾の一閃は全市を廃墟と化し、20有余万の生命を奪い去った事実は世界史上初の一大痛恨事として永遠に忘れる事は出来ない。爾来幾星霜、我々は地下に眠る精霊歔歔の声に ^{せいらいくせいそう} 応え平和を求め続けて来たが、いまだに核戦争の脅威と人類滅亡の不安に脅かされている。よって我々は原爆犠牲者の生命を永遠ならしめ、人類悠久の平和を願うためかねて全国の児童生徒に呼びかけ浄財の募金運動を展開し、有志団体の協力を得て、今こゝにこの像建立の目的を達した。我々の願いは必ずや世界恒久平和への道に通じるものと確信する。」昭和52年8月		
特記事項 <ol style="list-style-type: none"> 建立の由来 全国の学童の募金や広島商工会議所などの協力によって建立された。台座は募金によるものですが、像は広島出身の彫刻家圓鏝勝三<small>えんつばかつぞう</small>氏の寄贈です。圓鏝氏は除幕に際して「親から子どもへ、きのうよりもあすへ。三日月もやがて満月になる。新しい未来を求めて、平和のラッパを鳴らしたい」と制作意図を語りました。像の横に文化勲章受賞者の詩人、草野心平氏の詩碑があります。 草野新平 詩碑 平和祈念像によせて 天心の三日月の上に 幻でない母と子の像 これこそ永遠の平和の象徴 童子よ母の愛につつまれ 金のトランペットを吹き鳴らせ 天にも地にも透明な 平和の調べを吹きおくれ どんな未来がこようとも 頬ぺいっばいふくらまし No more Hiroshima の 金のトランペットを吹き鳴らせ 1978年8月 草野心平 		